

タチバナ *Citrus tachibana* (Makino) Tanaka

【評価理由】

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 15。暖地性の樹木で、愛知県は分布の東限にあたる。県内では生育地も個体数も極めて少ない。

【形態】

常緑性の小高木。幹はよく分枝し、高さ 2~6m、枝は緑色で稜があり、太く鋭い刺がある。葉は互生し、葉柄は長さ 4~10mm でごく狭い翼があり、葉身は卵状長楕円形~卵状楕円形、長さ 4~8cm、幅 2~4cm、先端は鈍頭でややへこみ、基部は鋭形、辺縁は全縁または波状の浅い鋸歯があり、無毛で、表面に油点が散在する。花期は 6 月、花は新枝の葉腋に 1 個ずつつき、花弁は 5 枚で白色、長さ 8~10mm である。果実は扁平な球形で直径 2.5~3cm、6~8 室があり、黄色に熟す。

【分布の概要】

【県内の分布】

尾：44b 南知多（中井三従美 s.n., 1994-1-22）。東：14 蒲郡（竹島，加藤等次 s.n., 1951-9-6）、17 田原東部（土田大山，加藤等次 s.n., 1958-1-15）、西：36 西尾南部（沖ノ島，大原準之助 1289, 1951-9-23）で採集された標本もあり、小林・深谷（2008）によれば沖ノ島には現存するという。

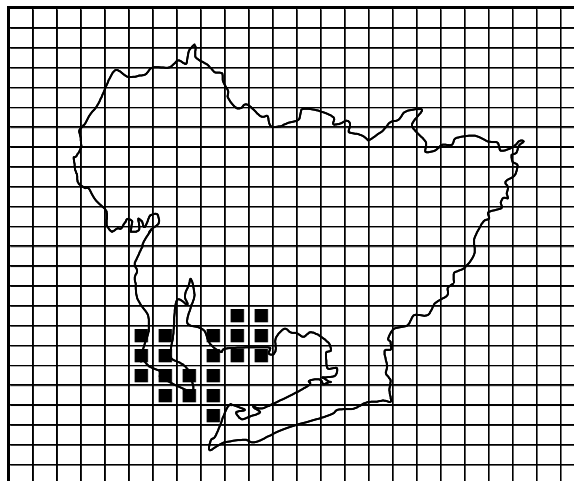
【国内の分布】

本州（愛知県以西）、四国、九州、琉球（南大東島）。

【世界の分布】

日本および台湾に分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

海岸近くの常緑広葉樹林内に生育し、しばしば神社などに植栽される。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				○
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

しばしば植栽される植物で、社寺林などにあるものは自生か植栽かよくわからないことが多い。小林・深谷（2008）は、「鳥居喜一氏と加藤等次氏が田原市大山で採集された標本以外、すべて社寺林内で採集されたもので植栽されたのであろう」と述べているが、そのとおりかもしれない。

【保全上の留意点】

植栽の可能性はあるが、それでも確認された場合は個別的に保全を図るべきである。

【特記事項】

ミカン属の野生種で、属の中では最も北に分布する。

【引用文献】

小林元男・深谷昭登司, 2008. 佐久島・三河湾島々の植物 p.243. 佐久島会, 刈谷.

【関連文献】

保木本 I p.318, 平木本 I p.283, 平新版 3 p.301, SOS 旧版 p.62.